

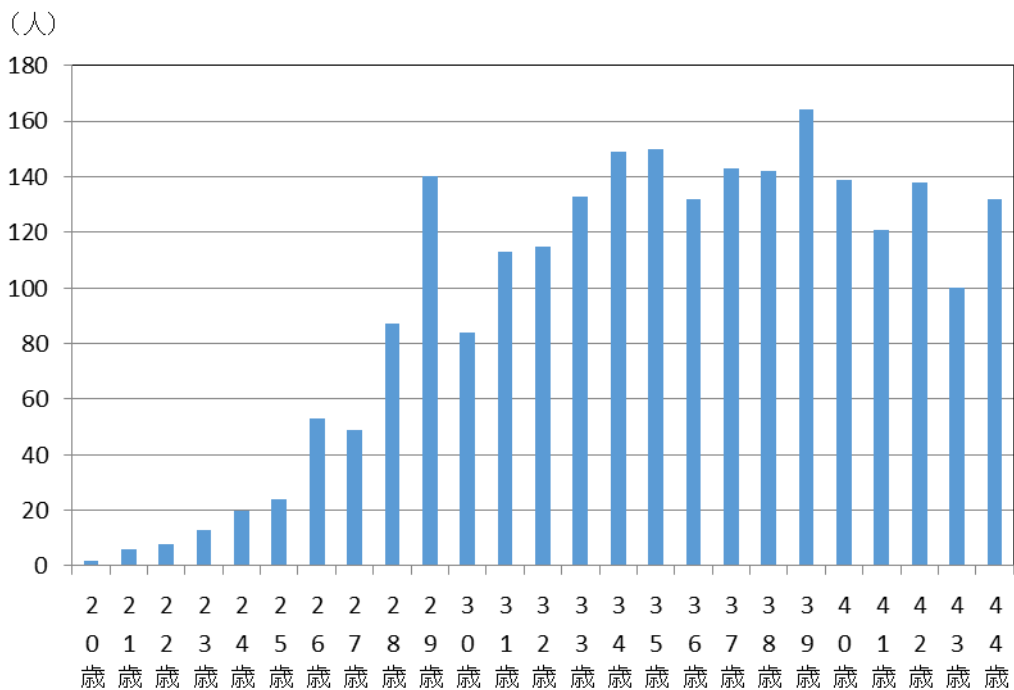
2-1 回答者のプロフィール

◇2-1-1 回答者の年齢

「年齢をお答えください」と尋ね、選択肢から該当する数字を選択してもらった。

回答者の平均年齢は 35.5 歳（標準偏差 5.4）であった。年齢層別の構成は 29 歳以下 402（17.0%）、30 代前半 594（25.2%）、30 代後半 731（31.0%）、40 代 630（26.7%）で、20 代（とくに 20 代前半）が少なく、30 代後半がやや多い構成となっている。

(n=2357)



◇2-1-2 居住地

「お住いの都道府県をお選びください」と尋ね、47都道府県から選択してもらった。

回答者の居住地は全国にわたっている。地域を8ブロックに分けて、国勢調査の女性人口の構成比をくらべると、本調査の回答者は中部地方と近畿地方でやや多く、九州・沖縄、北海道・東北でやや少ない。

(n=2357)

北海道	5.0	三重県	1.6
青森県	0.6	滋賀県	0.9
岩手県	0.6	京都府	1.6
宮城県	1.5	大阪府	9.1
秋田県	0.5	兵庫県	5.1
山形県	0.5	奈良県	1.1
福島県	0.6	和歌山県	0.6
茨城県	1.2	鳥取県	0.2
栃木県	1.5	島根県	0.4
群馬県	1.1	岡山県	1.6
埼玉県	5.6	広島県	2.2
千葉県	4.4	山口県	0.8
東京都	12	徳島県	0.2
神奈川県	8.4	香川県	1.1
新潟県	1.4	愛媛県	1.0
富山県	0.8	高知県	0.4
石川県	1.0	福岡県	4.6
福井県	0.6	佐賀県	0.5
山梨県	0.3	長崎県	0.5
長野県	1.2	熊本県	0.9
岐阜県	1.7	大分県	0.8
静岡県	2.8	宮崎県	0.3
愛知県	9.3	鹿児島県	1.0
		沖縄県	0.8

	本調査	2010年国勢調査	差
北海道・東北	9.2	10.8	-1.6
関東	34.2	35.4	-1.2
中部	19.1	16.2	2.9
近畿	20.2	18.3	1.9
中国四国	8.0	8.3	-0.3
九州・沖縄	9.3	11.0	-1.7

◇2-1-3 学歴

「あなたと配偶者/パートナーの最終学歴（初めて仕事に就く直前の学歴）について教えてください。中退を含んでお考えください」と尋ね、「中学校」、「高校」、「専門学校」、「短期大学」、「大学」、「大学院」、「その他」、(配偶者の回答のみ回答可で)「配偶者/パートナーはいない」で回答してもらった。

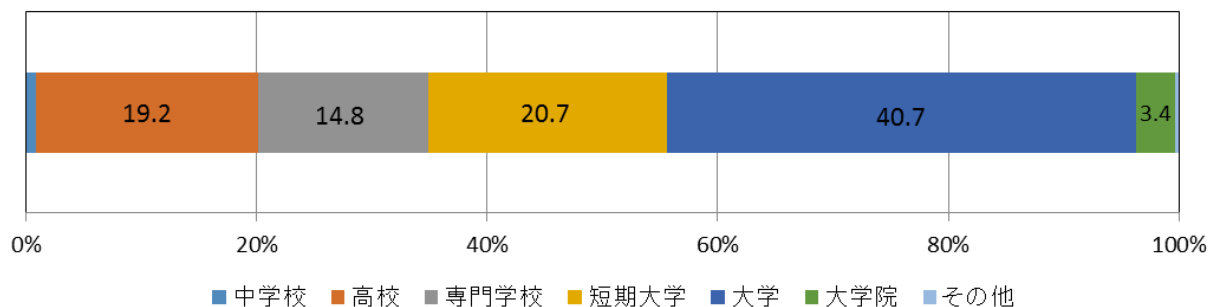
回答者の学歴は、「大学」が 959 (40.7%) と最も多く、「短期大学」489 (20.7%)、「高校」453 (19.2%)、「専門学校」348 (14.8%)、「大学院」79 (3.4%)、「中学校」21 (0.9%)、「その他」8 (0.3%) である。

配偶者の学歴は、回答者と同様に「大学」が 1108 (47.0%) と最も多く、「高校」506 (21.5%)、「専門学校」349 (14.8%)、「大学院」216 (9.2%)、「中学校」59 (2.5%)、「その他」14 (0.6%) である。回答時に「配偶者/パートナーがいない」は 57 (2.4%) であった。

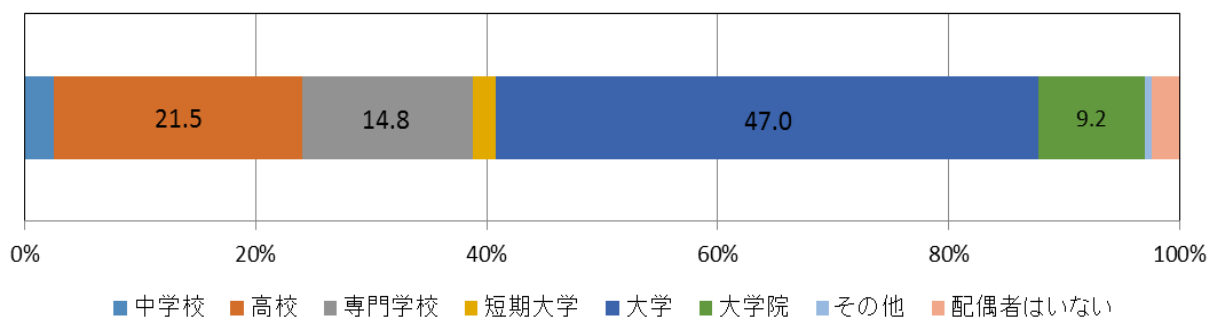
本人、配偶者ともに大学以上が多く、本調査の回答者は、高学歴者が多く、やや偏りがあることには留意が必要である。

(n=2357)

回答者の学歴



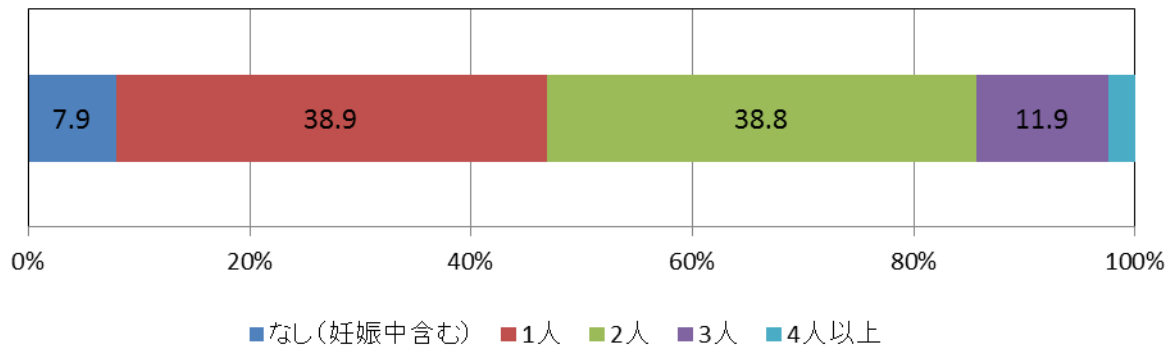
配偶者の学歴



◇2-1-4 子ども

「お子さんの年齢と性別を教えてください」と尋ね、第5子までの状況を回答してもらった。

子どもの人数は、なし（妊娠中を含む）が7.9%、1人が38.9%、2人が38.8%、3人が11.9%、4人以上が2.4%であった。子どもがいる人のみの平均は、1.8人（標準偏差0.8）であった。

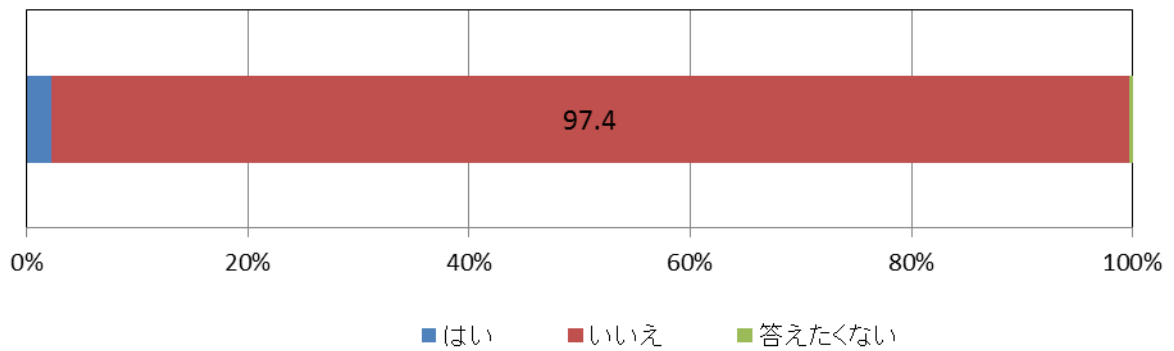


◇2-1-5 医療従事者の経験

「あなたは出生前検査に医療者として、何らかの形でかかわった経験はありますか」と尋ね、「はい」、「いいえ」、「答えたくない」で回答してもらった。

「いいえ」のかかわった経験がない人が 2295 (97.4%)、「はい」が 54 (2.3%)、「答えたくない」が 8 (0.3%) であった。職業として出生前検査にかかわったことがある人はわずかであった。

(n=2357)



◇2-1-6 現在の就業状況

「あなたと配偶者／パートナーのお仕事について教えてください」と尋ね、「1.専門・技術的な仕事」、「2.管理的な仕事」、「3.事務的な仕事」、「4.営業・販売の仕事」、「5.技能工・生産工程に関わる仕事」、「6.運輸・通信の仕事」、「7.保安的職業」、「8.サービス職」、「9.農林漁業に関わる仕事」、「10.その他」、「11.働いていない」から回答してもらった。

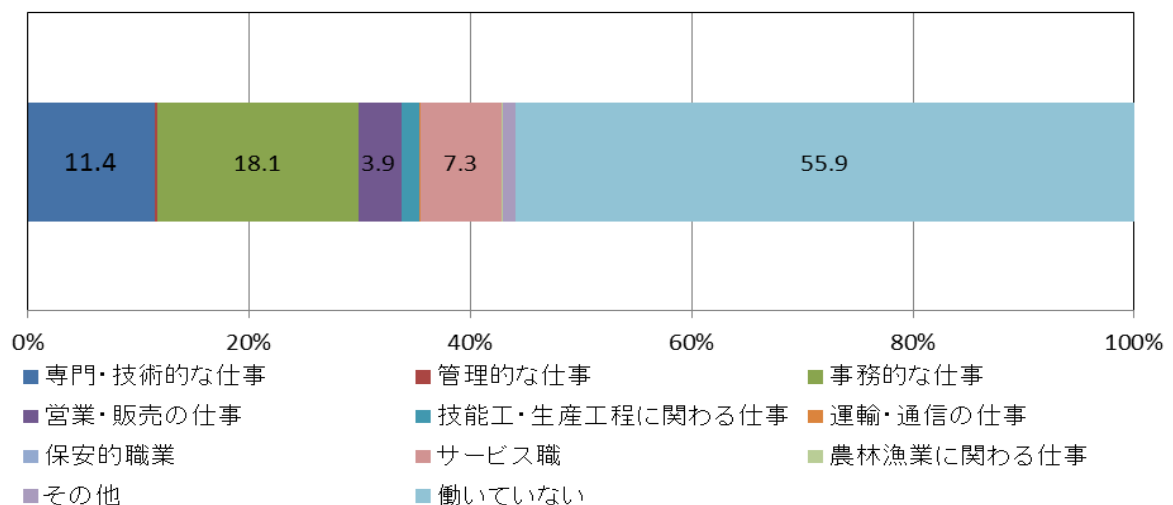
回答者の就業状況は、「働いていない」が 1318 (55.9%) と最も多く、有業者の職種で多いのは、「事務的な仕事」427 (18.1%)、「専門・技術的な仕事」269 (11.4%)、「サービス職」172 (7.3%) の順となっている。

(n=2357)

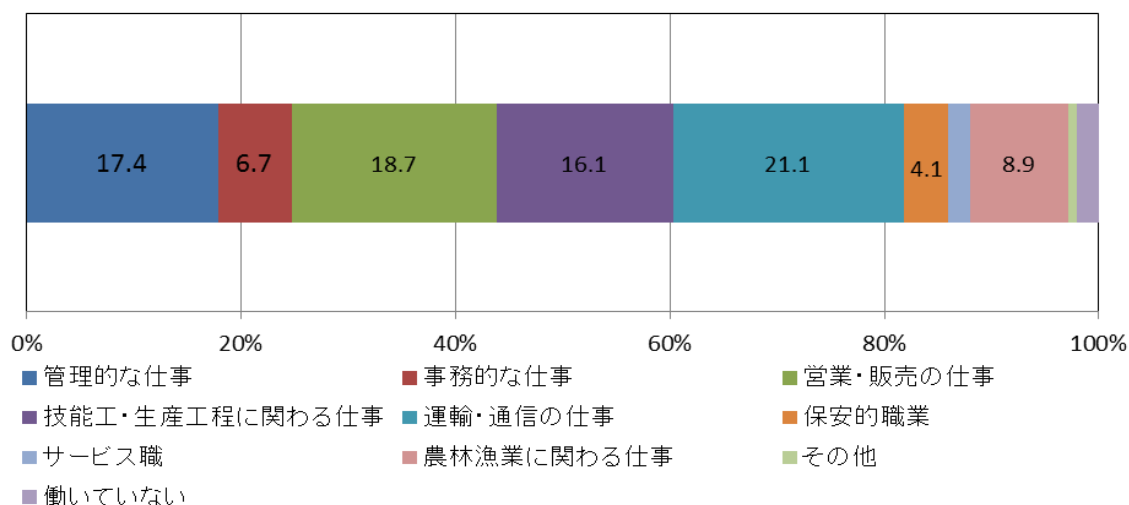
配偶者の就業はほぼ有業者で、職種では「技能工・生産工程に関わる仕事」485 (21.1%)、事務的な仕事 430 (18.7%)、専門・技術的な仕事 401 (17.4%) の順となっている。

(n=2300)

回答者の就業状況



配偶者の就業状況

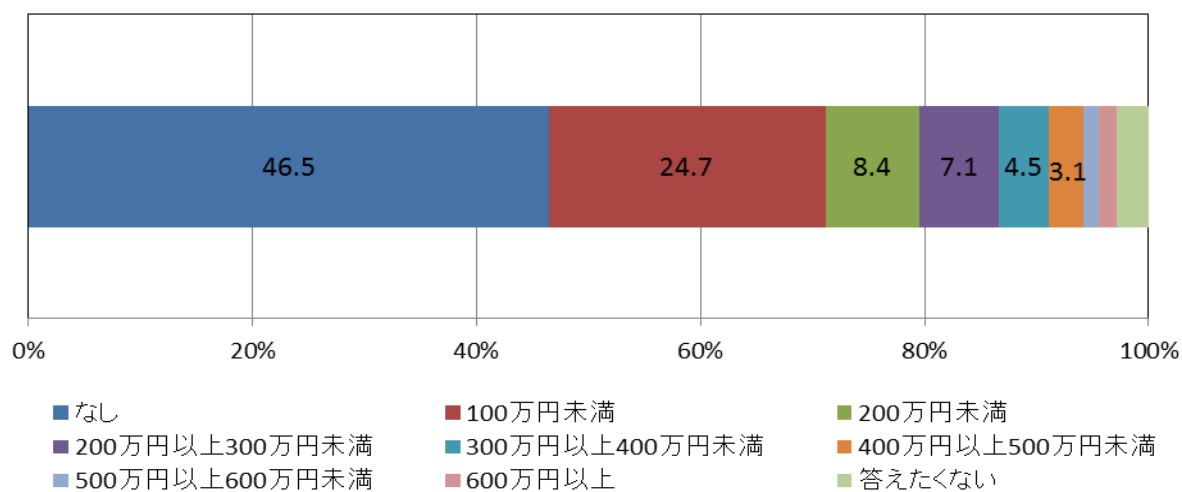


◇2-1-7 回答者の年収

「差支えなければ、昨年1年間のあなたと世帯全体の収入を教えてください」と尋ね、年収額を選択肢から1つ選んでもらった。

前問でみたように現在、無職の人が多いため、収入なしが1096 (46.5%) と最も多い。収入があった人では、「100万円未満」582 (24.7%)、「200万円未満」199 (8.4%) の順となっている。

(n=2357)

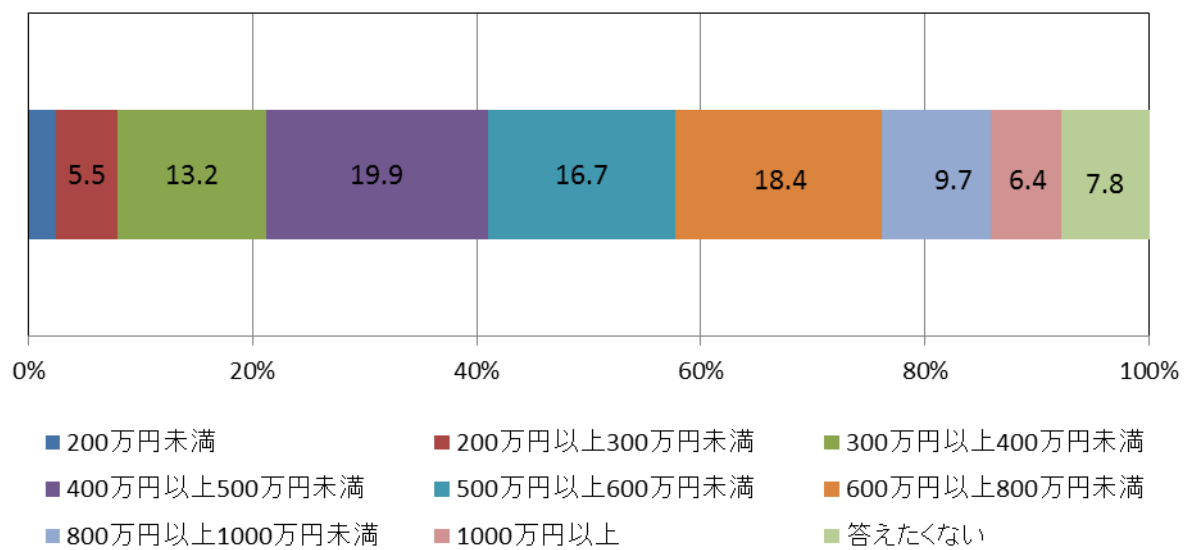


◇2-1-8 世帯年収

「差支えなければ、昨年1年間のあなたと世帯全体の収入を教えてください」と尋ね、世帯年収額を選択肢から1つ選んでもらった。

世帯年収が「400～500万円未満」が469（19.9%）と最も多く、以下「600～800万円未満」433（18.4%）、「500～600万円未満」394（16.7%）であった。答えたくないは184（7.8%）であった。

(n=2357)

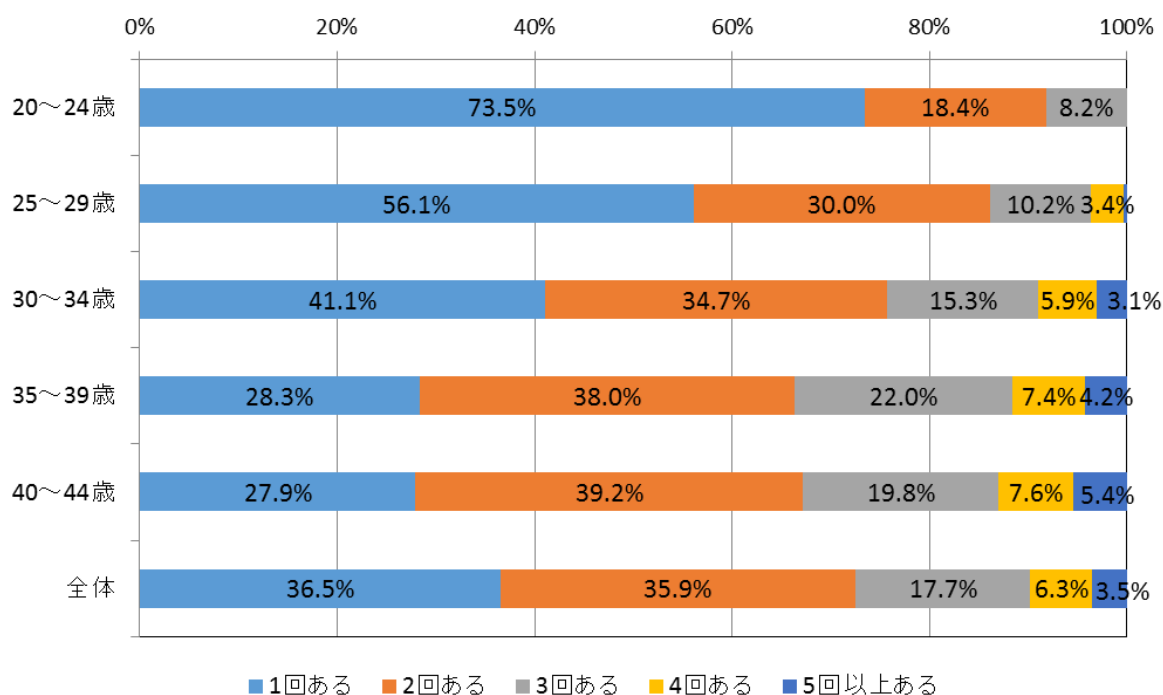


◇2-1-9 妊娠の経験

「あなたは今までに妊娠したことはありますか。(現在妊娠中の方は、その妊娠も含めてお考えください)」と尋ね、一度もない、1回ある～5回ある、の各回、6回以上、答えたくない、から回答してもらった。

全体では、「1回ある」846 (36.5%)、「2回ある」417 (35.9%)、3回以上ある人は650 (27.5%)である。年齢層別にみると、30代後半になると2回以上あるという人が増えている。

(n=2357)

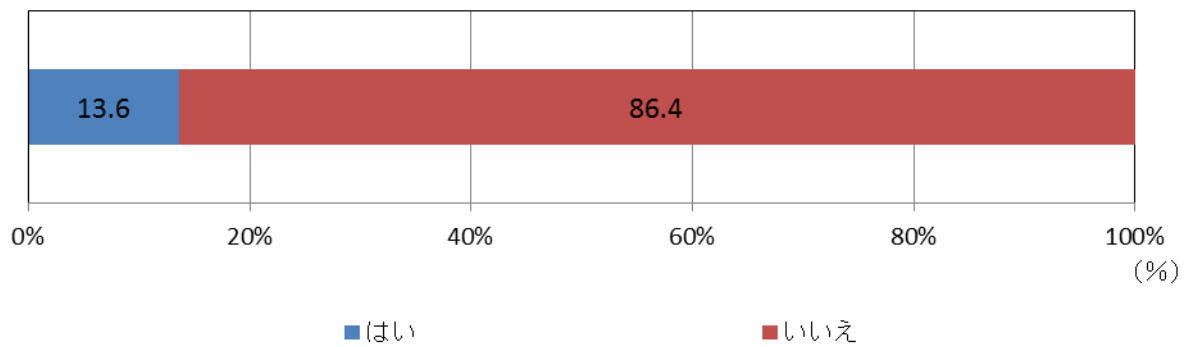


◇2-1-10 現在妊娠されていますか

「現在妊娠されていますか。」と尋ね、「はい」、「いいえ」、「答えたくない」から回答してもらった。

調査時点に妊娠中だった人は、320（13.6％）であった。

(n=2357)

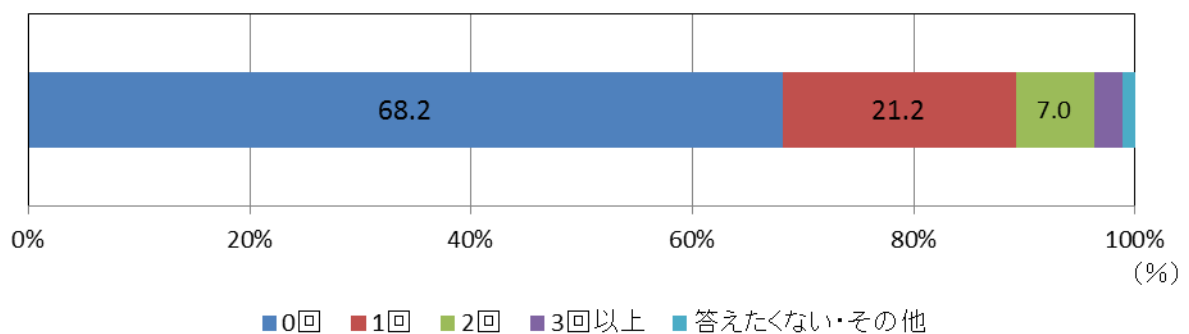


◇2-1-11 自然流産・自然死産の経験回数

「これまでの妊娠経験について教えてください」として、「自然流産・自然死産の経験回数」を、0回、1回～4回までの各回、5回以上、答えたくない、から回答してもらった。

自然流産・自然死産の経験は「0回」が1608(68.2%)であった。経験がある人の回数では1回500(21.2%)、2回164(7.0%)、3回45(1.9%)、4回9(0.4%)、5回以上7(0.3%)、答えたくない18(0.8%)、その他6(0.3%)であった。

(n=2357)

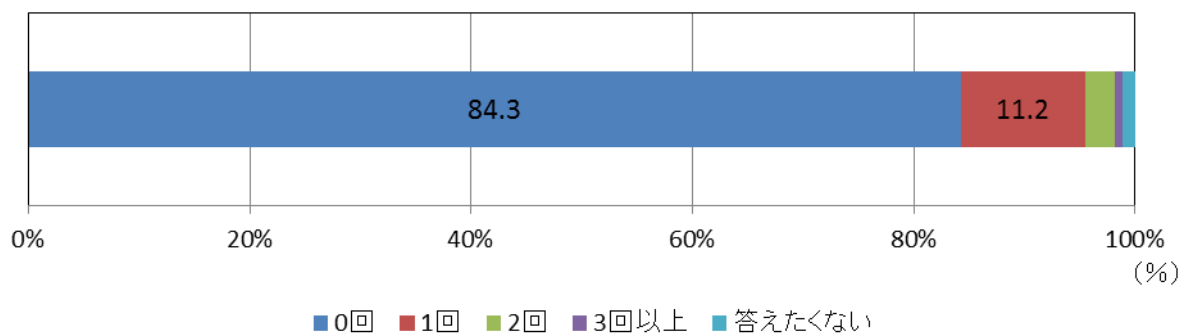


◇2-1-12 人工妊娠中絶（人工流産・人工死産）の経験回数

「これまでの妊娠経験について教えてください」として、「人工妊娠中絶（人工流産・人工死産）の経験回数」を0回、1回～4回の各回、5回以上、答えたくない、から回答してもらった。

人工妊娠中絶の経験は0回が1986(84.3%)であった。経験がある人の回数では1回264(11.2%)、2回64(2.7%)、3回14(0.6%)、4回2(0.1%)、5回以上1(0%)、答えたくない26(1.1%)であった。

(n=2357)



◇2-1-13 不妊治療の経験

「あなたはこれまでに妊娠を希望して不妊検査や不妊治療を受けたことがありますか」と尋ね、「はい」、「いいえ」、「わからない」、「答えたくない」から回答してもらった。

「はい」の不妊検査・治療の経験がある人は505 (21.4%)、「いいえ」の経験がない人は1847 (78.4%)、わからない1 (0%)、答えたくない4 (0.2%)であった。

年齢層別に不妊検査や不妊治療の経験率をみると、30代以降では、2割の人が不妊検査や不妊治療を経験していると回答している。

(n=2357)

